

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 磯村 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 金子 和彦
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3799-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	6,143	—	△4	—	14	—	2	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 2百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 0.54	円 銭 —
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
28年3月期第1四半期	百万円 6,350	百万円 4,563	% 71.9	円 銭 896.61
27年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,563百万円 27年3月期 1百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 12.00	円 銭 12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,760	—	195	—	237	—	165	—	32.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	5,500,000 株	27年3月期	5,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	410,539 株	27年3月期	410,539 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	5,089,461 株	27年3月期1Q	5,089,461 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社は、平成28年3月期第1四半期より連結決算へ移行いたしました。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和などを背景として企業収益や雇用環境が改善し、緩やかな回復基調となりました。

このような経済状況のもとで当社グループでは、生産コストの高止まりやドライバー不足などの厳しい輸送環境に加え、春先からの天候不順等も影響をし、前年より入荷量が減少しました。円安による影響から輸入品も少なく、取扱数量が減少したため、期間を通して品薄傾向が続き、単価高となりました。

消費面においては、ゴールデンウィークを利用した帰省に際してお墓参りを行う人が増えるなど、新たな仏花需要が生まれ年々拡大しております。

また、母の日については、注文も多く、専門小売店をはじめとする店頭販売は前年を上回り好調でした。しかしカタログ販売は受注が減少し、伸び悩みました。

このような結果、当第1四半期連結累計期間（平成27年4～6月）の業績は、売上高6,143,525千円、営業損失4,579千円、経常利益14,468千円、親会社株主に帰属する四半期純利益2,761千円となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、6,350,960千円となりました。主な内訳は現金及び預金2,464,608千円、売掛金1,092,447千円であります。

負債につきましては、1,787,688千円となりました。主な内訳は受託販売未払金810,914千円であります。

純資産につきましては、4,563,271千円となりました。主な内訳は利益剰余金3,957,929千円であります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,362,608千円となっております。

営業活動の結果増加した資金は、206,215千円となりました。主な増加要因は、売上債権の減少713,449千円によるものです。また、主な減少要因は、仕入債務の減少494,492千円、法人税等の支払額15,824千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、453,541千円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出423,643千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、14,842千円となりました。この要因は、配当金の支払額9,792千円及びリース債務の返済による支出5,050千円によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月8日の「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、重要性が増したため、子会社である株式会社大田ウィングス及び株式会社九州大田花きを連結の範囲に含めております。また、四半期純損益及び利益剰余金に重要な影響を及ぼすため、関連会社である株式会社とうほくフラワーサポート、株式会社ディーオーシー及び花き施設整備有限会社を持分法適用の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,464,608
売掛金	1,092,447
商品	669
その他	134,381
貸倒引当金	△6,469
流動資産合計	3,685,637
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	116,306
工具、器具及び備品（純額）	257,915
建設仮勘定	433,260
その他（純額）	154,901
有形固定資産合計	962,383
無形固定資産	
ソフトウェア	109,115
その他	4,265
無形固定資産合計	113,381
投資その他の資産	1,589,558
固定資産合計	2,665,322
資産合計	6,350,960
負債の部	
流動負債	
受託販売未払金	810,914
買掛金	37,631
未払法人税等	14,207
賞与引当金	67,564
その他	240,905
流動負債合計	1,171,222
固定負債	
退職給付に係る負債	283,367
その他	333,098
固定負債合計	616,466
負債合計	1,787,688
純資産の部	
株主資本	
資本金	551,500
資本剰余金	402,866
利益剰余金	3,957,929
自己株式	△349,024
株主資本合計	4,563,271
純資産合計	4,563,271
負債純資産合計	6,350,960

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
売上高	6,143,525
売上原価	5,534,467
売上総利益	609,058
販売費及び一般管理費	613,637
営業損失（△）	△4,579
営業外収益	
受取利息	1,232
受取配当金	4,500
持分法による投資利益	4,064
その他	9,250
営業外収益合計	19,047
経常利益	14,468
税金等調整前四半期純利益	14,468
法人税等	11,707
四半期純利益	2,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	2,761
その他の包括利益	—
四半期包括利益	2,761
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,761
非支配株主に係る四半期包括利益	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第1四半期連結累計期間 （自平成27年4月1日 至平成27年6月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	14,468
減価償却費	39,228
賞与引当金の増減額（△は減少）	41,564
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,600
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,301
受取利息及び受取配当金	△5,732
持分法による投資損益（△は益）	△4,064
売上債権の増減額（△は増加）	713,449
たな卸資産の増減額（△は増加）	△291
仕入債務の増減額（△は減少）	△494,492
未収入金の増減額（△は増加）	4,360
未払費用の増減額（△は減少）	△1,072
未払金の増減額（△は減少）	△18,412
未払消費税等の増減額（△は減少）	△34,196
その他	△58,850
小計	201,257
利息及び配当金の受取額	20,783
法人税等の支払額	△15,824
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△423,643
無形固定資産の取得による支出	△500
貸付けによる支出	△89,800
貸付金の回収による収入	60,401
投資活動によるキャッシュ・フロー	△453,541
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△9,792
リース債務の返済による支出	△5,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,842
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△262,169
現金及び現金同等物の期首残高	2,624,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,362,608

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、花き卸売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。